

赤星

月刊

7-8月 2006年 (通巻399号) No.57

本号300円
年間購読料 1部3000円 (送料別)
(送料) 密封1000円 開封800円

THE SEKISEI (RED STAR/ROTE STERN)

編集 共産主義者同盟 (DER BUND DER KOMMUNISTEN)

発行所 蜂起社 東京都江東区大島3-9-25/TEL 03-5626-8262

発行人 南 安明 <振替> 00120-2-1512 蜂起社・南安明

紙面案内

- ① 希望のインターナショナルを
- ②-③ 反グローバリズムのプロレタリア階級論 (Ⅲ)
- ③ 三里塚/沖縄
- ④ 日・仏「持たざる者」が連帯

お知らせ 次号は9月中旬発行です。

「持たざる者」の国境を越えた連帯で

希望のインターナショナルを



フランスNO-VOXを迎えて開催された
7.3越境する「持たざる者」の連帯集会



7.2日仏学院で発言するベナサヤグ氏(右)
とビューロー氏(左)

「北朝鮮脅威論」の煽動を許すな
朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)のミサイル発射に対して、日本政府内から敵国(北朝鮮)のミサイル基地を攻撃する能力を自衛隊に保有させようとする発言が、「経済制裁」発動に乘じる形に相次いだ。7月9日の防衛庁長官領賀の「敵基地攻撃論」がきっかけだ。この発言は「専守防衛」の建前(国是)をも破り「先制攻撃」を正当化して全面的な侵略戦争に突き進むことを可能にしようとする意図をあらわにした。官房長官の安倍や自民党幹事長の武部もこの類発言に同調した。与党の公明党もさすがに否定的な見解を表明せざるを得ないほどのタカ派的侵略攻撃発言といえる。

韓国の大統領府からは、すくま11日、こうした日本政府内の閣僚などによる「敵基地攻撃論」に対して「朝鮮半島に対する先制攻撃の可能性と武力行使の正当性」を論じることは「朝鮮半島の危機をさらに増幅させ、軍事大国化の大義名分にしよう」という日本の政治指導者たちの傲慢と暴言には強力に対応していく」と厳しく非難。「日本の侵略主義的傾向を表したもので、強く警戒せざるを得ない」と批判した。さらに「今回の発言は朝鮮半島と北東アジアの平和を阻害する重大な威嚇的発言」と述べた。

日本政府閣僚の「敵基地攻撃」発言に対する韓国政府の反発は当然である。「自衛」のためと称して先制攻撃することは、紛れもなくこちら側から侵略戦争を仕掛けることだ。断じて許してはならない。

ミサイル発射問題を利用してことさらに「北朝鮮脅威」や「朝鮮半島の危機」を煽り立てる日本政府と「日本のように大膽な安全確保」を掲げないほど安全確保次元の非常事態ではない」とする韓国政府との立場の違いが際立った。

新しいラディカルな左翼運動を
米プッシュ政権と英ブレア政権によるイラク戦争に対する批判の声は高まるばかりだ。米ニューヨーク・タイムズ紙社説(5・28付)は「米軍はイラク兵や警察官の代替の役目は果たせない。米軍のイラク駐留は米兵自身にも米国の国際的立場にも罪なきイラクの大多数の国民にとっても危険だ」と米軍の早期撤兵を主張するに至った。

英サンデー・テレグラフ社説(5・28付)は「イラク占領は対外干渉についての『ブレア・ドクトリン』の終わりを示しているようだ。人権擁護を理由とした外国への侵攻が人命の代償に値するに値する者は、いまほとんどいない。英国の軍事行動が多数派の支持を得るにはその安全保障上の脅威が直接かつ明白でなくてはならない。『王様する国際社会』への信頼感の喪失がブレア氏の遺産だ」とブレア政権を皮肉った。

こうした米プッシュ政権との対立を明確にした「反米政権」が、中東のパレスチナ、南米諸国で生まれている。

ラテンアメリカでは、今「反米民族主義の台頭」と呼ばれる新たな政治的左傾化と言え動きが顕著になっている。「忘れ去られた人々」と呼ばれる先住民や貧しい「持たざる者」の怒りを反映した現象だ。

90年代以降、ラテンアメリカ諸国では新自由主義政策が腐敗し、社会は富める者と貧しい者に分断され、貧しい者はより貧しくなるという現状に怒りが募ってきた。こうした新自由主義政策に対する貧しい民衆の怒りを背景にして、一つは新自由主義政策を踏襲しつつ貧富の格差の解消を目指すのが社民的な穏健な「ライト(軽い)左派」——ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、チリの各政権——、もう一つは、新自由主義政策に真向から反対し、強烈な反米民族主義を打ち出す流れである。その「新しい旗手」がベネズエラのチャベス大統領であり、今年一月に就任したボリビアのモラレス大統領である。ペルーの大統領選挙で決選投票で敗れたが第一回投票では一位となったワラ元陸軍中佐がこれに続いたと言え。

ボリビアとペルーに共通するのは「忘れ去られた人々」と形容されるスペインによる征服以降、500年以上にわたって最底辺に虐げられ貧しい生活を強いられきた先住民人口が多いことである。この先住民らの貧しい人々の支持を得て反米左派が伸張したのである。

だが、これまでもラテンアメリカでは、民族主義を掲げるポピュリストの政治家が登場するたび、民衆は希望を託したりしてきたが貧しい「持たざる者」の未来を保障しないことが分かつと失望し幻滅してきた。このような社民的ライト左派や民族主義的反米左派に代わる「新しいラディカルな左翼」の創出こそが今求められているのである。我々は、「もっと深く下層へ」「もっと広く国境を越えて」、「持たざる者」・プロレタリア民衆の連帯を築き、「希望のインターナショナル」(サパティスタ)を立ち上げなければならぬのである。世界の至る所でパレスチナや韓国やフランスで、我々よりもはるかに厳しい状況の中にあっても決して諦めない、人間らしく生きたい、希望を取り戻したいと願い、自らの解放のために闘い訓練を生き延びている人たちがいる。こうしたプロレタリア民衆の怒りこそ、世界を革新する闘いと連帯の「拠り所」である。「希望」と「情熱」のエネルギー源である。搾取や抑圧、不正や不平等に対する怒りを心の奥深くに宿らせ変革への情熱をたぎらせている人たち、私たちはそういう人たちと出会うことで心を揺さぶられ胸が熱くなるのを見た。

来日したNO-VOXフランスのミゲル・ベナサヤグ氏は、「困難を生きている『持たざる者』の存在と闘いによって、私は現実の世界の複雑さを理解できるようになった。希望が持てるような闘いを創るために連帯しなければならぬ」と語った。日・仏の「持たざる者」の連帯は前進する。

三里塚

7・2全国闘争に決起！ 北延伸着工阻止へ

7月2日、三里塚現地に於いて「暫定清走路」北延伸着工阻止 憲法改悪絶対反対 7・2全国総決起集会」が800名の結集で勝ち取られた。

この日の闘いは、暫定清走路をめぐる北延伸着工を阻止する闘争を全国に発し、併せて三里塚闘争不屈の40周年の地帯を共有する取り組みとして、6・25東京の集いに連続して呼びかけられた。

へ、全国から三里塚に返してゆく大きな力をまきおこそう」と提起した。敷地内の市東孝雄さんは「8月に畑の解約の要請があったが、畑は絶対に手放さない。恫喝や権力の監視に屈しないので頑張り」と力強く決意を表明。続いて芝山から鈴木謙太郎さんが「この地で農業をやり続けることが何よりも闘いの基本だ」と表明した。顧問弁護団の葉山岳夫さんは、改憲と三里塚について提起。そして「一坪共有地強奪を認めた6・28千葉地裁の不当判決に対する弾劾声明、北延伸着工阻止闘争宣言が読み上げられ、沖繩から知花昌一さんのメッセージも代読された。

沖繩 新基地建設許すな 7・1集会に200名

「沖繩・辺野古への新基地建設を許さない！ 7・1集会」が東京・文京区民センターにて、200名を超えて行われた。

この日の集会は、海上基地建設を阻止した2年余の闘いの成果と地帯をふまえて、5月の日米合意を弾劾し、新たな基地建設を許さず、沖繩との連帯を呼びかけるために準備された。沖繩からの訴えは、ヘリ基地反対協議会代表委員として先頭で闘う安次富浩さんが米軍再編が沖繩の負担軽減だというマスコミ報道の欺瞞と、「国の専断事項」だから地元は口を出さないという愚弄に怒りを込めて闘いの強化を訴え、全国の反基地住民運動との結合や国際的なメッセージの発信を提起した。



7・2三里塚全国集会

東区民センターで「三里塚闘争40年 歴史と現在(いま)を語る集い」が約50名を超える結集で勝ち取られた。センターのロビーでは2日間わたって、戸村一作氏の彫刻、福島次郎氏の三里塚闘争写真展も催され、一般の見学者も交えて盛況であった。集会は、反対同盟を中心にパネルドイスカッションで、40年の地帯と現在の闘いの意義について提起。意見が交わされ、充実した取り組みとなった。北延伸着工許すな10・8全国闘争へ決起を、

「沖繩・辺野古への新基地建設を許さない！ 7・1集会」が東京・文京区民センターにて、200名を超えて行われた。

この日の集会は、海上基地建設を阻止した2年余の闘いの成果と地帯をふまえて、5月の日米合意を弾劾し、新たな基地建設を許さず、沖繩との連帯を呼びかけるために準備された。沖繩からの訴えは、ヘリ基地反対協議会代表委員として先頭で闘う安次富浩さんが米軍再編が沖繩の負担軽減だというマスコミ報道の欺瞞と、「国の専断事項」だから地元は口を出さないという愚弄に怒りを込めて闘いの強化を訴え、全国の反基地住民運動との結合や国際的なメッセージの発信を提起した。

「共産主義者宣言」は、労働者階級の解放の条件、それは、あらゆる階級の廃止である。……労働者階級は、その発展の過程において、諸階級との闘争を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

級その敵対関係を排除するある連合社会をもつて、旧市民社会におきかたえらるべきである。……『共産主義者宣言』(一) 一般的には「共産主義宣言」の抜粋を掲載する。

『哲学の貧困』は1847年に、『共産宣言』は1848年に執筆された。

7・3~7・5 東京-大阪貫き

日・仏「持たざる者」が連帯



7・3越境する「持たざる者」の連帯集会(恵比寿区民会館) 発言するフノット・ビューロー氏(上)、ミゲル・ペナサヤグ氏(下)。

国境を越える社会運動、「持たざる者」の世界的ネットワークNOVOXフランスの活動家たちを招いての連続した取り組みが、6月30日〜7月5日にわたって、東京・大阪で開催され盛況裡に勝ち取られた。

失業と貧困、社会的排除のグローバルな世界を覆いつくそうとする中で、これまで社会の底辺や周辺に追いやり、在っても無い存在に視えない存在とされてきた者たちが「もう、たくさんだ」と声を上げ「競争と排除」に抗し怒りのレジスタンスを繰り広げその声は越境して反グローバリズム運動後進国、日本を巻き込み始めている。

今年1月30日の大阪・うつほ公園での野宿者たちに対する強制排除に抗議して、2月8日、フランスのNOVOX「持たざる者」たちがパリの日本政府観光局を占拠し、日本の「持たざる者」への連帯を行動で刻印した。

さらに、6月15日フランスのクリチバ、サンパウロで空き地、空きビル占拠の約1000家族に迫る排除の煮つまりに、ブラジル現地のパリ・リスボン・東京を貫いての世界同時抗議行動の取り組みに際し、フランス大使館前に入行行動への警察の理不尽な介入、不当逮捕(18日に奪還)に連帯の連鎖行動を展開して越境する「持たざる者」の連帯の美を示したのだ。

今回来日した「住宅への権利」(DAL)のフノット・ビューロー氏、「越境する持たざる者」のレジスタンスを繰り広げ、その声は越境して反グローバリズム運動後進国、日本を巻き込み始めている。

今年1月30日の大阪・うつほ公園での野宿者たちに対する強制排除に抗議して、2月8日、フランスのNOVOX「持たざる者」たちがパリの日本政府観光局を占拠し、日本の「持たざる者」への連帯を行動で刻印した。

さらに、6月15日フランスのクリチバ、サンパウロで空き地、空きビル占拠の約1000家族に迫る排除の煮つまりに、ブラジル現地のパリ・リスボン・東京を貫いての世界同時抗議行動の取り組みに際し、フランス大使館前に入行行動への警察の理不尽な介入、不当逮捕(18日に奪還)に連帯の連鎖行動を展開して越境する「持たざる者」の連帯の美を示したのだ。

今回来日した「住宅への権利」(DAL)のフノット・ビューロー氏、「越境する持たざる者」のレジスタンスを繰り広げ、その声は越境して反グローバリズム運動後進国、日本を巻き込み始めている。

7・3越境する「持たざる者」の連帯集会(恵比寿区民会館) 発言するフノット・ビューロー氏(上)、ミゲル・ペナサヤグ氏(下)。

「持たざる者」の中心メンバーの一人、高校生の時からDALの住宅占拠闘争をともに担ってきた現場活動家の女性だ。現在も移住労働者家族の相談活動などに携わっている。ミゲル・ペナサヤグ氏はアルゼンチン生まれの哲学者で、「それでもなお抵抗」の中心メンバーで哲学者。

その後、山手界隈から隅田川に向かい、テント・仮小屋を巡りながら、さくら橋の寄り合いに合流。短い時間ではあったが、現場の仲間、生活と出会うという貴重な試みとなった。

夜は、大阪経済法科大学のセミナー室にて、ミニシンポジウムと討論会が、反差別国際運動、部落解放同盟の人たちを交えて行われた。7月1、2日は、東京日仏学院主催で「それとなくお・持たざる者」の権利を求めての抵抗、日本とフランス」と題した、講演、ラウンドテーブル、映画上映など、が行われた。1日に「ガガ」上映(解説・荒木剛)も実現し、パネラーには、金ヶ崎パトリックやAPFSなど、野宿者運動、移住労働者運動の仲間も参加した。

3日は、移住労働者との交流が都内で行われ、夕刻からは、恵比寿区民会館において、「持たざる者」の国際連帯行動実行委員会主催による「越境する「持たざる者」の連帯」と題された集会が約100名の参加で成功裡に勝ち取られた。

まず、フランス・日本の「持たざる者」の闘いを編集した映像を上映。住宅占拠闘争や強制排除に抗議する闘いに、国境を越えた闘いの現場の息吹が会場全体に伝わる。主催者あいさつに続いて、フランスにおける「持たざる者」の闘いの報告と提起をフノット・ビューローさんから、「持たざる者」の抵抗と連帯——その意味するもの——の講演をミゲル・ペナサヤグさんから行う。その後、会場からの質問を集約して二人

「持たざる者」の闘いを編集した映像を上映。住宅占拠闘争や強制排除に抗議する闘いに、国境を越えた闘いの現場の息吹が会場全体に伝わる。主催者あいさつに続いて、フランスにおける「持たざる者」の闘いの報告と提起をフノット・ビューローさんから、「持たざる者」の抵抗と連帯——その意味するもの——の講演をミゲル・ペナサヤグさんから行う。その後、会場からの質問を集約して二人

「持たざる者」の闘いを編集した映像を上映。住宅占拠闘争や強制排除に抗議する闘いに、国境を越えた闘いの現場の息吹が会場全体に伝わる。主催者あいさつに続いて、フランスにおける「持たざる者」の闘いの報告と提起をフノット・ビューローさんから、「持たざる者」の抵抗と連帯——その意味するもの——の講演をミゲル・ペナサヤグさんから行う。その後、会場からの質問を集約して二人

7・3「持たざる者」集会に100名 7・5対大阪市行動を共に闘う

6月29日、フランスから3名の活動家来日。以降30、7月1、2、3日は東京、4、5日は大阪で、集会、シンポジウム、現場交流、行動などの取り組みを精力的にこなした。また30日は、山谷労働者福祉会館ホールにて、3名を迎えての交流の場が持たれた。炊き出しを担っている仲間が心を込めて作った食事しながらの交流は、各々の自己紹介からなごやかな雰囲気始められた。

フランスの仲間を紹介される。フノット・ビューローさんは「住宅への権利(DAL)」の中心メンバーの一人、高校生の時からDALの住宅占拠闘争をともに担ってきた現場活動家の女性だ。現在も移住労働者家族の相談活動などに携わっている。ミゲル・ペナサヤグ氏はアルゼンチン生まれの哲学者で、「それでもなお抵抗」の中心メンバーで哲学者。

その後、山手界隈から隅田川に向かい、テント・仮小屋を巡りながら、さくら橋の寄り合いに合流。短い時間ではあったが、現場の仲間、生活と出会うという貴重な試みとなった。

夜は、大阪経済法科大学のセミナー室にて、ミニシンポジウムと討論会が、反差別国際運動、部落解放同盟の人たちを交えて行われた。7月1、2日は、東京日仏学院主催で「それとなくお・持たざる者」の権利を求めての抵抗、日本とフランス」と題した、講演、ラウンドテーブル、映画上映など、が行われた。1日に「ガガ」上映(解説・荒木剛)も実現し、パネラーには、金ヶ崎パトリックやAPFSなど、野宿者運動、移住労働者運動の仲間も参加した。

3日は、移住労働者との交流が都内で行われ、夕刻からは、恵比寿区民会館において、「持たざる者」の国際連帯行動実行委員会主催による「越境する「持たざる者」の連帯」と題された集会が約100名の参加で成功裡に勝ち取られた。

まず、フランス・日本の「持たざる者」の闘いを編集した映像を上映。住宅占拠闘争や強制排除に抗議する闘いに、国境を越えた闘いの現場の息吹が会場全体に伝わる。主催者あいさつに続いて、フランスにおける「持たざる者」の闘いの報告と提起をフノット・ビューローさんから、「持たざる者」の抵抗と連帯——その意味するもの——の講演をミゲル・ペナサヤグさんから行う。その後、会場からの質問を集約して二人

「持たざる者」の闘いを編集した映像を上映。住宅占拠闘争や強制排除に抗議する闘いに、国境を越えた闘いの現場の息吹が会場全体に伝わる。主催者あいさつに続いて、フランスにおける「持たざる者」の闘いの報告と提起をフノット・ビューローさんから、「持たざる者」の抵抗と連帯——その意味するもの——の講演をミゲル・ペナサヤグさんから行う。その後、会場からの質問を集約して二人

として共同の研修などにも取り組んでいる。権力にどう対抗するのかなど各々の考えを述べ、それらを積み重ねていくこと、自分たちが自身がNOVOXなのだという地点から声を上げていくことだ。

ミゲル・ペナサヤグ「それでもなお抵抗」(「持たざる者」とは、社会のあらゆる領域で排除された人々であり、今日の中心課題になる。「持たざる者」の連帯は違う世界を創りだすプログラムである。以下、7・3集会の二人の発言から要旨。

フノット・ビューロー「住宅への権利」日本もフランスも、国家は抑圧的であり、暴力的な弾圧は共通する。それは運動が連帯していることを意味する。DALの取り組みは、家のない人が住宅を占拠する直接行動に始まりすべての人に住宅をという政治運動に発展させて闘うものだ。女性や子供の参加者が多いのが日本と違う所だ。その女性たちの多くは北・西アフリカ出身者という特徴がある。昨年の夏から秋にかけて放火による火災で死者が続出し、移住労働者は危険な存在だと人種差別と社会的差別的キヤンペーンが流され、排除の正当化が目論まれた。この状況の中で、暴動を抑えなければならぬ。今求められているのは、暴力的な抑圧・弾圧に抗しながら、多くの人々を結集させ、成果のある闘いをどのように作ってゆけるかだ。その一環としての「民衆大学」の試みは、DALとしても活動家と当事者をつなぐもの